

環境活動報告書  
Sustainability Report  
2025

株式会社群桐産業  
群桐エコロ株式会社



## 産業を支え、地球環境を守る

群桐グループは、確かな運用体制で環境マネジメントシステムを機能させ、社会的責任を果たしてまいります。

# CONTENTS

---

## TOP MESSAGE

- p1. 信頼を、次の時代へ  
群桐グループ会長 山口茂

- p2. 確かな技術と責任  
(株)群桐産業/群桐エコロ(株)  
代表取締役 山口博

## COMPANY INTRODUCTION

---

- p3. 群桐グループの始まりと沿革

- p5. 会社概要  
群桐グループ

- p7. 環境実績  
株式会社群桐産業 / 群桐エコロ株式会社

## MANAGEMENT

---

- p9. 組織図  
株式会社群桐産業 / 群桐エコロ株式会社

- p10. コンプライアンス / コーポレートガバナンス

- p11. 群桐産業のCSR

支える、守る、築く。群桐グループの根幹

環境への取り組み

安全教育

人材育成/福利厚生



群桐グループはISO14001の認証を取得しています。

# TOP MESSAGE

積み重ねた信頼を力に、  
これからも環境と社会の持続に貢献します



群桐グループ会長 兼  
群桐ホールディングス

代表取締役 山口 茂

群桐グループは1984年の創業以来、地元・太田市をはじめとする多くの地域の企業様から産業廃棄物の処理をお任せいただき、環境保全と循環型社会の実現を目指して歩んでまいりました。廃油の回収・再生販売を起点としたリサイクル業からスタートし、医療系廃棄物の焼却処理を加えたことで、一本柱の体制が整いました。さうに14年前には群桐工場の稼働によって溶融処理が、9年前には低濃度PCB廃棄物処理が加わり、現在はこの4つの事業が当グループの大それの事業が安定して機能し、

相互に補完し合うことで、私はちは毎年着実に売上を伸ばし、事業基盤を強化してまいりました。これはひとえに、リサイクルを原点とする各事業が有機的に連携し、持続可能な形で成長を続けてきた成果だと考えております。今後は、これまでに培った知識と経験を活かし、産業廃棄物のリサイクル処理における新たな提案を社会に発信し、形にしていくことが私たちの使命です。その取り組みと並行して、女性の活躍推進やワークライフバランスの向上、安全管理の徹底など、社員の働く環境づくりにも力を注いでまいります。これらすべての取り組みが一体となることで、グループとしての結束力を高め、企業としての社会的責任（CSR）を果たすことにつながると信じています。かつては敬遠されがちだった産業廃棄物処理業も、今では「リサイクル」や「エコ」といったキーワードで語られるようになり、社会的な期待も大きく変化してきました。私たちはこれからも時代の流れをしっかりと見据え、歩みを止めることなく前進し続けてまいります。

## TOP MESSAGE

# 持続可能な未来を創る、 確かな技術と誠実な責任

私たち群桐グループは、「産業を支え、地球環境を守る」という企業理念のもと、創業以来一貫して環境保全と持続可能な社会づくりに真摯に取り組んでまいりました。特に近年は、廃棄物処理の過程で生じる溶融スラグを人工砂として再利用するなど、限りある資源の有効活用を通じた循環型社会の構築を目指しています。こうした取り組みの根底には、「ただ廃棄物を処理するのではなく、未来に活かす」という視点があります。リサイクル可能な素材の抽出・再資源化を技術的な柱とし、処理工程そのものにも環境負荷の低減を組み込むことで、次世代に誇れる企業でありますと考えています。

また、持続的な事業成長には「人」の力が不可欠です。当社では働く環境の整備にも力を注ぎ、福利厚生制度の充実や教育研修の機会提供を通じて、一人ひとりの能力と個性が發揮できる職場づくりを進めていきます。若手や女性社員の活躍推進、多様な人材の育成も、今後ますます重要になると考えて大

切にする姿勢も、私たちのCSR活動の核となっています。群馬県内のサッカークラブやバケットボールクラブへの協賛を通じて地域のスポーツ振興を応援するとともに、太田市が主催する小学生向けの「サイエンスアカデミー」では毎年、当社施設を活用した工場見学を実施しています。子どもたちが社会や環境に興味を持つきっかけとなるよう、今後も積極的に地域貢献活動を継続してまいります。これからも変化する時代のニーズに応えながら、信頼される環境企業として歩みを止めることなく前進してまいります。



株式会社群桐産業  
群桐エコロ株式会社

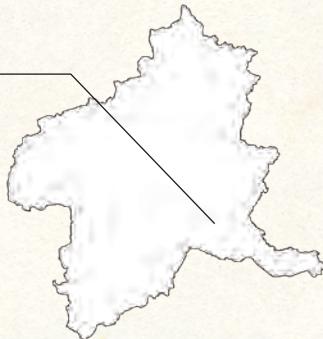
代表取締役 山口 博

# 藪塚町の片隅で、群桐産業の歴史は始まりました。



群馬県太田市藪塚町

藪塚町(やぶづかちょう)は、群馬県太田市の旧藪塚本町域内にある地名。  
以前は、藪塚本町の町丁でしたが  
その後、太田市と合併し現在の形になりました。



## HISTORY

株式会社群桐産業は、1984年、群馬県の自然豊かな歴史ある町「新田郡藪塚本町」にて産声を上げました。四季折々の表情を見せる山々に囲まれたこの穏やかな地で、社員わずか6名、小さな社屋とタンクローリー1台という、まさにゼロからのスタートでした。

事業の原点は、廃油の回収業務。劣化した油や使用済みのオイルなど、かつては「不要なもの」として扱われていた廃棄物に、新たな価値を見出すことから、私たちの挑戦は始まりました。当時はまだ「リサイクル」や「環境保全」という言葉が、今ほど社会に浸透していた時代ではありませんでした。しかし、資源の有効活用や地球環境への配慮といった考え方は、確実にその重要性を高めつづりました。私たちはその時代の変化をいち早く察知し、「ただ廃棄する」から「再び活かす」へと発想を転換。目の前にある資源を有効に使い切るという理念を胸に、地域に根ざした事業運営を続けてまいりました。

やがて、その小さな一步は、時代の流れとともに大きなうねりとなり、地域企業からの信頼と実績を積み重ねながら、事業は着実に成長していきました。創業当初の精神を忘れることなく、社会と調和した産業廃棄物処理の在り方を摸索し続けてきた私たち群桐産業は、地域社会に寄り添いながら、未来につながる環境づくりに貢献しています。





(株)群桐産業  
創立40周年

2017

群桐本社屋完成

2016

低濃度PCB廃棄物  
処理用固定焼炉稼働

2014

(株)群桐産業  
創立30周年

2014

群桐エコロッパ株式会社へ  
社名変更

2011

群馬ハイブリッド  
クリーンセンター完成

(株)エコロジスタが施設管理を担い、  
群桐産業のグループ企業となりました。

2007

(株)エコロジスタ設立

群桐産業の焼却施設を上回る処理施設建設へ。  
一社完結への第一歩を踏み出しました。

1998

焼却施設完成

平成10年に焼却施設完成し  
廃棄物の中間処理が可能に

1996

廃油リサイクル  
施設完成

設立から12年  
油水分離の許可を取得

群桐グループ沿革

1984  
株式会社  
群桐産業設立

HISTORY

# 1984年、(株)群桐産業設立

創業期と基盤づくり(1984年～1998年)

群桐グループの原点は、1984年に群馬県(旧)新田郡敷塚本町にて「株式会社群桐産業」が設立されたことになります。当初はわずかな人員と設備で廃油の回収から事業をスタートしましたが、翌年には産業廃棄物収集運搬の許可を取得し、処理業者としての基盤を固めていきました。1996年には、油水分離の許可を取得するとともに、廃油リサイクル施設を完成させ、回収した廃油を資源として再利用する体制を確立。1998年には焼却施設を導入し、処理可能な廃棄物の種類や対応範囲が広がり、業務の幅が大きく拡大、ISO 14001認証も取得しました。

グループ化と事業拡大(2007年～2014年)

2007年、太田市新田大町に株式会社エコロジスタ(現群桐エコロッパ株式会社)を設立し、グループ企業として体制を拡大。2011年には全国有数の焼却溶融施設「群馬ハイブリッドクリーンセンター」が完成し、リサイクル処理への大きな一步を踏み出しました。同年にはISO 14001認証も取得。2014年には、独自の処理技術「ロータリーキルン及びその稼働方法」で特許を取得し、同年2月に社名を「群桐エコロッパ株式会社」へ変更。11月には株式会社群桐産業の創立30周年を迎えて、記念祝賀会を開催しました。

現在からの未来く(2016年～2024年)

2016年、群桐エコロッパ(株)にて低濃度PCB廃棄物処理用の固定床炉が稼働を開始し、受け入れ可能な廃棄物の種類と処理能力が大幅に向上了。2017年には群桐グループの本社ビルが完成し、機能性と快適性を備えた本社機能が整備されました。同年、群馬県優良企業表彰にて商業・サービス部門で優秀賞を受賞。2024年には株式会社群桐産業が創立40周年を迎えます。人工砂を使用した砂時計の販売や、スクラップ事業の稼働などこれまでの歩みを礎に更なる発展を目指します。



# 会社概要

Company  
Profile

## 株式会社群桐産業



群桐グループ本社及び営業部門。

多数のドライバーを有し、廃油をはじめとする産業廃棄物を収集運搬します。また、焼却プラントでは医療系廃棄物や廃プラスチック類、汚泥や塗料、水溶性廃油等を焼却処理しています。

焼却処理後に発生する燃え殻はグループ会社の群桐エコロ株式会社に溶融リサイクルを委託しています。

営業、総務、経理、プラント、維持管理、収集運搬等

多数の職種が存在し、群桐エコロ株式会社の営業・代行等も行います。

資本金 6,000万円

営業本部 群馬県太田市大原町78番地1

藪塚工場 群馬県太田市藪塚町3201

栃木営業所 栃木県真岡市荒町2-5-10

従業員数 85名(2025年5月現在)

売上高

【主な事業内容】

- ・産業廃棄物収集運搬
- ・再生重油販売
- ・汚泥、廃油及び医療系廃棄物焼却処分
- ・PCBソリューション



## 群桐エコロ株式会社

群桐グループ施設管理部門。

株式会社群桐産業がお客様から回収または収集運搬業者から持ち込まれた廃油を、自社のシステムでリサイクル処理して再生重油として販売しています。

リサイクルに回せる廃油以外の産業廃棄物は、焼却溶融処理して溶融スラグから人工砂を製造し、路盤材やコンクリートの骨材等の用途として使用されます。

全国でも希少な焼却溶融施設を擁し、最終処分場として

株式会社群桐産業からの燃え殻も処理します。

資本金 2,000万円

営業本部 群馬県太田市大原町78番地1

新田工場 群馬県太田市新田大町600番26

従業員数 70名(2025年5月現在)

売上高

【主な事業内容】

- ・廃棄物焼却溶融処理及び人工砂製造販売
- ・廃油の油水分離処理
- ・低濃度PCB廃棄物処理
- ・スクラップ事業(2025.8稼働)・砂時計販売





## 本社ビル Head office Building

### 地域の環境を守る グループ中枢の力

2017年に完成した本社ビルは、営業部門が中心となりグループ全体を支える拠点です。最新設備と明るく快適なオフィス空間を備え、スタッフが働きやすい環境を整えています。打ち合わせスベースや共有エリアも充実し、部署間の連携やお客様対応を円滑に行える体制が整っています。

#### 株式会社群桐産業

3,367,989

(単位:千円)

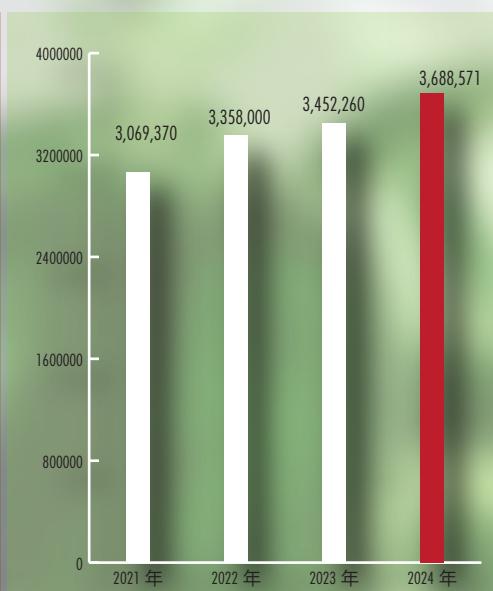
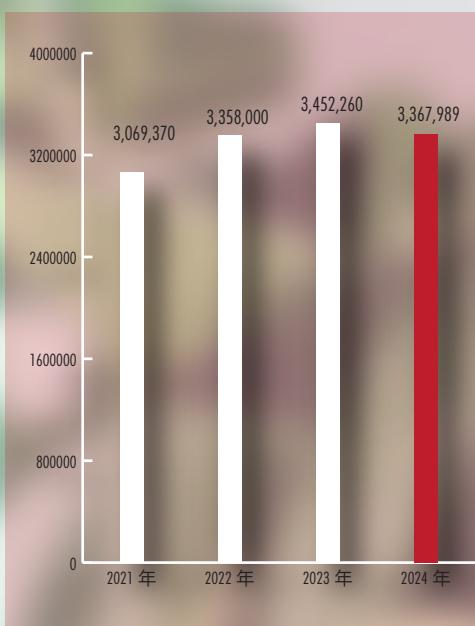
令和5年6月1日～令和6年5月31日

#### 群桐工コロ株式会社

3,688,571

(単位:千円)

令和5年4月1日～令和6年3月31日



## 売上高 Sales Data

群桐グループは、創業以来安定した成長を続け、産業廃棄物処理・リサイクル事業において、堅実に業績を積み重ねてきました。ここでは、当グループの売上推移を公開し、環境事業における私たちの実績と信頼性をご確認いただけます。社会から求められる使命を果たしつつ、今後も持続的成長を目指してまいります。

# 環境実績 Environmental Achievements

対象施設:(株)群桐産業 焼却施設

資料採取日:2025.05.16 証明書発行日:2025.07.01

項目	測定結果	基準値	自主基準
排ガス	0.097 (ng-TEQ/m³N)	5 (ng-TEQ/m³N)	4.0 (ng-TEQ/m³N)
焼却灰	0.019 (ng-TEQ/g)	3 (ng-TEQ/g)	2.4 (ng-TEQ/g)
飛灰(ばいじん)	0.34 (ng-TEQ/g)	3 (ng-TEQ/g)	2.4 (ng-TEQ/g)

対象施設:群馬エコロ(株) 焼却溶融施設

資料採取日:2024.07.22 証明書発行日:2024.09.03

項目	測定結果	基準値	自主基準
排ガス	0.00016 (ng-TEQ/m³N)	0.1 (ng-TEQ/m³N)	0.1 (ng-TEQ/m³N)
焼却灰	0 (ng-TEQ/g)	3 (ng-TEQ/g)	3 (ng-TEQ/g)
飛灰(ばいじん)	0.24 (ng-TEQ/g)	3 (ng-TEQ/g)	3 (ng-TEQ/g)

対象施設:(株)群桐産業 焼却施設

項目	測定結果		基準値	自主基準
	資料採取日:2024.10.24 計量証明発行日:2024.12.29	資料採取日:2025.5.16 計量証明発行日:2025.5.29		
ばいじん換算濃度	0.001 g/m³未満	0.001 g/m³未満	0.15 g/m³	0.12 g/m³
硫黄酸化物量(K値)	0.05 未満	0.11	8.0	6.4
窒素酸化物換算濃度	90 ppm	56 ppm	250 ppm	200 ppm
塩化水素換算濃度	28 mg/m³	18 mg/m³	700 mg/m³	560 mg/m³

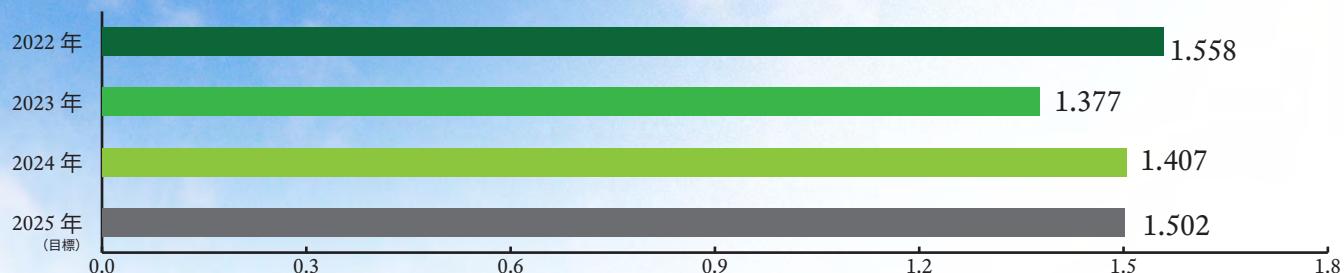
対象施設:群馬エコロ(株) 焼却溶融施設

項目	測定結果		基準値	自主基準
	資料採取日:2024.○.○ 計量証明発行日:2024.○.○	資料採取日:2024.○.○ 計量証明発行日:2024.○.○		
ばいじん換算濃度	0.001 g/m³未満	0.001 g/m³未満	0.04 g/m³	0.02 g/m³
硫黄酸化物量(K値)	0.07 未満	0.06 未満	8.0	6.0
窒素酸化物換算濃度	44 ppm	48 ppm	250 ppm	150 ppm
塩化水素換算濃度	29 mg/m³	6.4 mg/m³	700 mg/m³	150 mg/m³

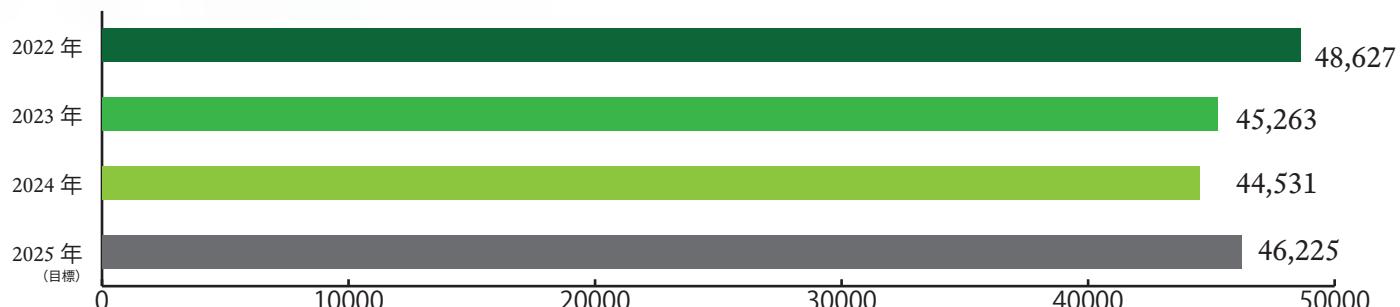
ダイオキシン類

煤煙(ばいじん・硫黄酸化物・窒素酸化物・塩化水素)

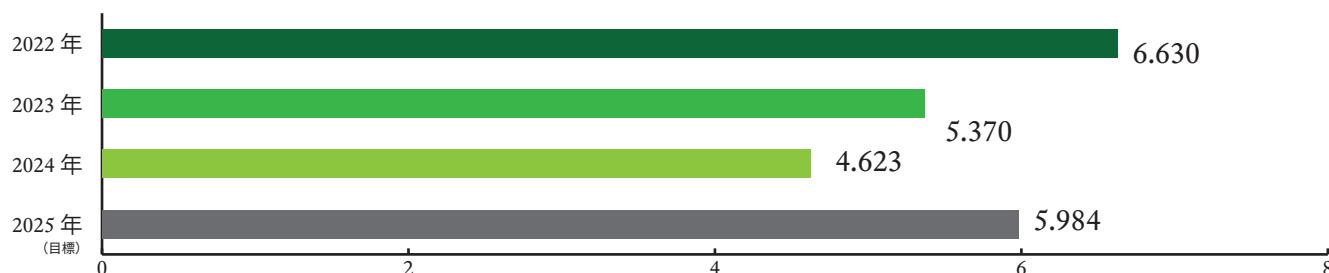
## 再生重油販売量 (KL)

CO<sub>2</sub>排出削減 (t-CO<sub>2</sub>/百万円)

## 廃棄物焼却量 (t)

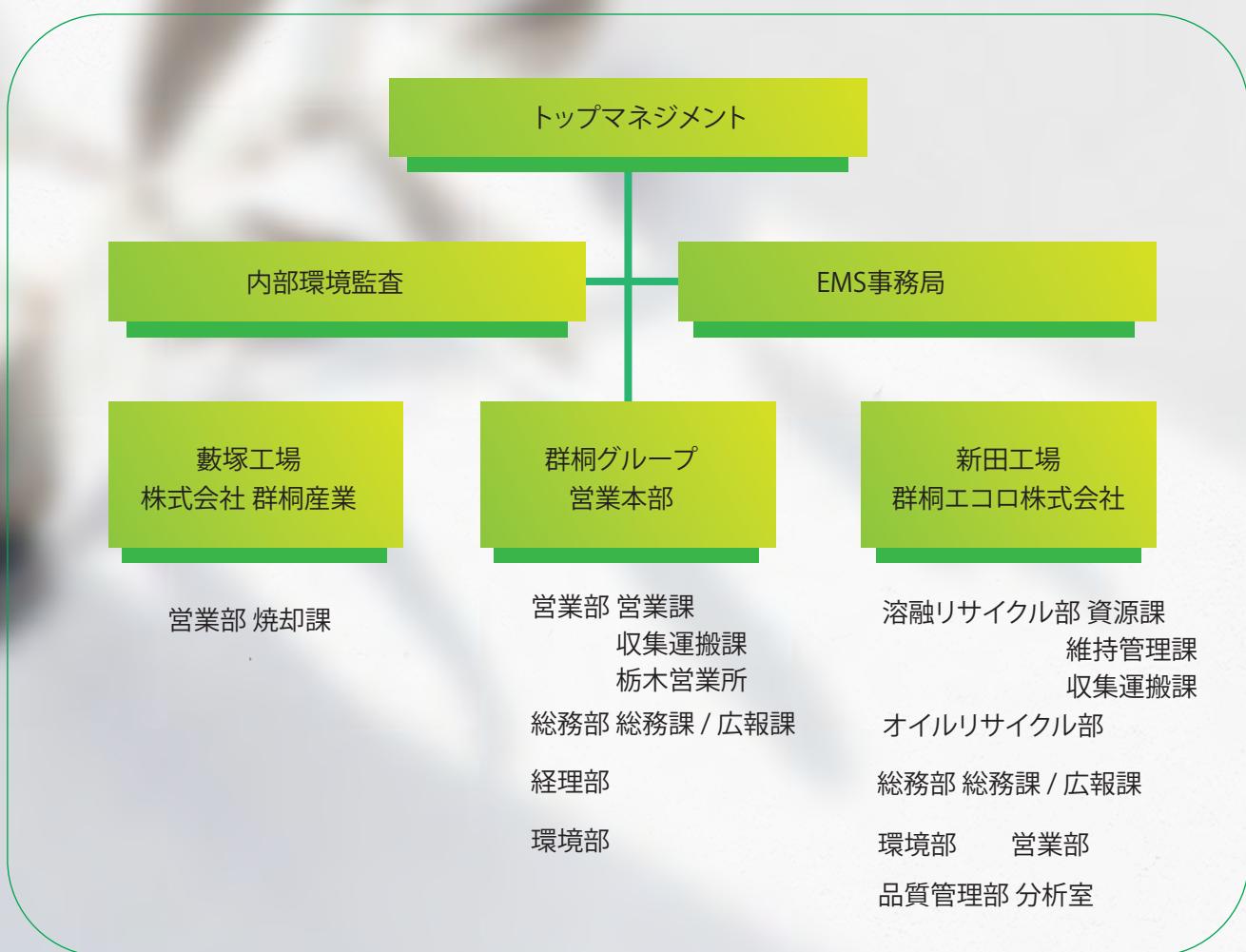


## 水の使用量削減 (t/百万円)



# 環境組織図

Environmental  
Organization Chart



グループ会長を環境総括責任者とし、株式会社群桐産業の社長を管理責任者としています。また、各課の責任者は内部監査官としてEMS（環境マネジメントシステム）事務局と共にチームを編成し、年1回の内部監査を実施しています。EMS事務局は、環境部が主幹しており、環境管理責任者と共に環境活動における重要な役割果たしています。環境管理責任者は、主に法律関係や環境目的・目標・プログラム等に関わる業務の管理並びにその他業務の管理及び承認を行います。環境総括責任者は、各種重要項目の承認並びに環境管理計画の見直しによる是正・改善を、環境活動が継続的かつ効果的に運用されるよう環境管理責任者に指示します。



# コンプライアンス

## Compliance

### コンプライアンス経営体制

群桐グループでは、法令遵守の徹底と社会からの信頼確立を目指し、全従業員が共有すべき行動の基盤として「群桐グループコンプライアンス基本方針」を制定しています。さらに、役員を含む全従業員に向けて教育研修の実施を通じて理解と実践を推進。これらの取り組みにより、コンプライアンス意識の着実な向上に努めています。

### 行動基準

群桐グループは、廃棄物処理業者として社会的・公共的役割を担っていることから、コンプライアンスにおいては法令遵守はもとより、社会的規範についても高い基準で意識しています。私たちが常に掲げている理念「地域、顧客との信頼関係を深め、環境と経済の共存を図りながら地球に優しい環境を考える企業として産業の発展に寄与する」を実現し、信頼を基盤とする企業としての責任を果たすためには、全従業員が常にコンプライアンスを意識し、法令やルール、社会規範に則った行動を積み重ねることが不可欠だと考えています。

# コーポレートガバナンス

## Compliance

### コーポレートガバナンス

群桐グループは「地球規模で考え、足元から行動する (Thinking Globally, Act Locally)」を理念に掲げ、お客様やお取引先、従業員、地域社会など、すべてのステークホルダーから信頼される企業を目指しています。その実現に向け、経営監査機能の強化や内部統制システムの整備を進め、リスク管理と説明責任を徹底しています。さらに、公正で透明性の高い企業活動を行うため、コンプライアンス遵守を基本に据えた施策を推進し、持続的な成長と社会的責任の両立を図っています。

## 支える、守る、築く。 群桐グループの根幹。

群桐グループは、ただ廃棄物を処理するだけの企業ではありません。私たち「社会と環境を支え、人々の暮らしを守り、持続可能な未来を築く」ことを企業としての使命とし、日々の業務に取り組んでいます。この言葉には、地域社会の一員としての責任、次世代へとつながる環境保全への強い思い、そして社員一人ひとりの生活基盤を守る覚悟が込められています。グループ全体が掲げる6つの柱――社会的貢献、存在価値、存在意義、技術力、責任性、従業員の生活向上――は、どれ一つ欠けても成り立たない、私たちの事業の土台です。

それぞれが、群桐グループという企業の核を成し、私たちが果たすべき役割と、そこにかける誇りを象徴しています。この価値観を共有しながら、全社員が一丸となつて、安心して暮らせる社会づくりに貢献し続けています。

### 社会貢献

廃棄物に新たな価値を見出し、再生資源として販売・循環することで、持続可能な社会の実現に貢献しています

### 会社の存在価値

厳格な許認可基準をクリアし、安定的かつ専門性の高い職種として、社会に必要とされ続けています。

### 存在意義

産業廃棄物処理施設は、現代社会の衛生と安全を守る“なくてはならないインフラ”です。私たちはその最前線を担っています。



### 従業員の生活向上

景気の影響を受けにくい安定した業種であり、年間休日多く、ワークライフバランスを重視した働き方を実現しています。

### 技術力

日本でも有数の焼却設備を備えPCB廃棄物の無害化処理にも対応。高度な処理技術で業界をリードしています。

### 責任性

収集から中間処理そして最終処分に至るまで、自社内で一貫して完結できる体制を整え、信頼に応える責任を果たしています。

# 群桐グループの CSR

## 環境への取り組み

ENVIRONMENTAL  
INITIATIVES

### 「環境を守る力」を 企業の力に。

私たちには、産業廃棄物処理を担う企業として、環境への負荷を最小限に抑える努力を惜しません。ISOの維持審査をはじめとする環境マネジメント体制の強化や、地域と連携した環境美化活動、太陽光発電による再生可能エネルギーの活用など、さまざまな取り組みを継続しています。また、施設内では排ガスの無害化処理、水の使用量削減、焼却時の熱エネルギーを再利用するサーキュラリサイクルなど、設備面においても先進的な環境配慮を進めています。これからも私たちは、環境と調和した事業運営を通じて、社会に必要とされる企業であります。

#### 環境保全活動



太田市では太陽光発電の導入が推進されており、群桐グループでも各拠点で積極的に取り組んでいます。株式会社群桐産業では、焼却プラントの倉庫棟および廃棄物保管倉庫の屋根に、群桐エコロ株式会社では事務所と倉庫の屋根に太陽光パネルを設置、年間を通じて日照時間が長い太田市の特性を活かし、再生可能エネルギーの活用を進めています。



群桐グループでは、ISO14001の維持審査が、認証審査機関であるSGSジャパン株式会社により実施されました。文書の精査をはじめ、社員へのインタビューや現場での作業立ち会いなど、厳格な確認が行われました。

#### 設備・システム



弊社グループの株式会社群桐産業および群桐エコロ株式会社の各プラントでは、排ガスの無害化処理に細心の注意を払っています。まず、二次燃焼室にて未燃焼成分を徹底的に分解し、その後急速冷却を実施します。続いて、消石灰による吸着処理とバグフィルタによる濾過を経て、浄化された排ガスを大気中へ放出しています。なお、排ガスの管理は法令で定められた基準を上回る、独自の厳格な社内基準を設定し、常にその数値を下回るよう厳重に監視を行っています。



焼却施設では、焼却炉や排ガスの冷却に雨水を活用しています。特に群馬ハイブリッドクリーンセンターでは、機器冷却や排ガスの冷却での水の循環利用など、効率的な水利用を進め、水使用量の削減に取り組んでいます。



群馬ハイブリッドクリーンセンターの焼却溶融施設では、廃棄物処理時の熱エネルギーを回収し、廃熱ボイラーで蒸気を発生させて発電(サーキュラリサイクル)に活用しています。発電量は平均で1時間あたり約830kW、年間では約597万kWhに達し、一般家庭約1,300世帯分の電力に相当します。この取り組みにより、廃熱利用と合わせて年間約2000トンのCO<sub>2</sub>排出削減を実現しました。さらに、焼却炉の燃料には工場内で製造した再生重油を使用し、超省エネ運転を推進しています。

# 群桐グループの CSR

## 安全教育

SAFETY EDUCATION

### 「安全」は、 意識と継続から。

従業員一人ひとりが安全に業務に取り組み、安心して働く職場を実現するため、当社では徹底した安全教育を行っています。入社時の初期研修はもちろんのこと、各業務に応じた専門研修を段階的に実施し、危険予知能力や安全行動の意識向上を図っています。さらに、過去の事故やトラブル事例を社内で共有し、再発防止に役立てています。日々の現場巡回や定期的な安全会議も継続的に行い、現場でのリスクを早期に発見し、速やかな対応に努めています。こうした取り組みを通じて、社員の安全意識を高めるとともに、地域社会に信頼される企業を目指しています。



#### 労働安全マネジメントの推進

株式会社群桐産業および群桐エコロ株式会社では、両社に安全衛生委員会を設置し、安全対策や安全衛生計画の立案・推進に取り組んでいます。委員会では「労働無災害の継続」を宣言し、重大な労働災害の防止や、地震などの自然災害発生時における影響を最小限に抑える体制づくりを会社全体で進めています。

#### 緊急時対応訓練

群桐エコロ株式会社では、毎年、緊急時対応訓練を実施しています。廃棄物容器の破損や保管時の漏れなどを想定し、迅速かつ適切に処置できるよう訓練を行っています。訓練後には作業員同士でミーティングを行い、緊急時対応手順表や連絡票の内容を見直し、必要に応じて改善・更新を図っています。



#### 避難誘導および消火訓練

群桐グループ各社では、有事の際に迅速かつ的確に対応できるよう、年に一度、避難誘導および消火訓練を実施しています。訓練では、消火器や消火栓の設置場所、避難経路の確認を行い、災害時に必要な判断力と行動力を身につけることを目的としています。また、消火器の使用方法についての説明と実践も行い、万が一の事態に備えた実践的な対応力の強化に努めています。

# 群桐グループの CSR

## 人材育成

HUMAN RESOURCES  
DEVELOPMENT

### 環境を守る力を 学びから育てる。

当社は、社会的責任を果たす企業として、単に廃棄物処理という役割を担うだけでなく、従業員一人ひとりが環境課題の解決に主体的に関わることができるよう、教育・人材育成の環境整備に力を入れています。これは、企業の成長と環境保全の両立を目指すうえで、欠かせない取り組みのひとつです。教育体制としては、全社員を対象とした「安全教育」、さらには日常業務に即した「実践的な教育訓練」などを定期的に実施。単なる知識の習得にとどまらず、現場で「なぜこの作業が必要なのか」「どうすればより安全・効率的にできるか」といった意識を持つて行動できる人材の育成を目指しています。



### その他の福利厚生

- ・永年勤続表彰(10年～) ※以降5年ごと
- ・インフルエンザ予防接種
- ・定期健診(年1回) ※プラント作業従事者は年2回
- ・慶弔・育児休暇 等

当社は従業員が安心して働ける環境づくりを重視しています。足湯施設や平屋社宅など独自の福利厚生で心身をサポートし、地域のスポーツチーム協賛などオフの充実も支援。こうした取り組みで働く人の安心と成長を支えています。

### 福利厚生

# 群桐グループの CSR

地元スポーツクラブへの応援



群馬クレインサンダース



私たちちは、企業活動を通じて地域の皆さんと共に歩むことを大切にしています。地元のサッカー・バスケットボールクラブへのスポンサー活動や、秋祭りなど地域イベントへの協賛を通して、街のぎわいづくりに貢献。また、医療機関への寄付を通じて地域の健康を支え、小学生向けの工場見学受け入れでは、次世代の学びの場を提供しています。こうした取り組みのひとつひとつが、地域社会とのつながりを深め、私たちの「さやかな力」が街に届く1歩となると信じています。

**私たちの一歩。  
地域に寄り添う、**

## 地域への貢献

LOCAL  
CONTRIBUTION

地元小学生の社会見学受入れ

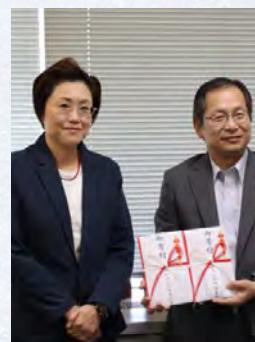


▲太田市サイエンスアカデミー  
見学受入れ

地元のイベント・病院様への寄附



▲蔽塙町かかし祭り



▲訪問車両導入  
(桐生総合病院様)



▲複十字シール運動  
(群馬県健康づくり財団)



▲蔽塙まつり



▲リレーフォーライフジャパンぐんま  
(群馬県健康づくり財団)

**群桐グループ  
オリジナル**

群桐産業のタンクローリーと  
ロゴが入った砂時計です！

ご購入方法

(株)群桐産業砂時計販売ページより  
お買い上げいただけます(右のQRから)

※電話でのご注文  
TEL : 080-7247-2531 (総務部広報課 本多)

人工砂「サーブルオール®」で作った

# Sand Glass

1分計
3分計

**ガスパ群馬×群桐グループ  
コラボグッズ**

かわいいガスパンダと  
エンブレムが印刷されています

ご購入方法

- ・ガスパ群馬オフィシャルショップ  
〒379-2161 前橋市富田町1674-8(GGCガスパーク内)  
※電話でのご注文は受け付けておりません。ショップのみの販売です。
- ・(株)群桐産業砂時計販売ページ (右のQRから)  
※電話でのご注文 TEL : 080-7247-2531(総務部広報課 本多)

産業廃棄物を人工砂にリサイクル。  
弊社の人工砂「サーブルオール」を使った  
砂時計です。



guntou\_group



(株)群桐産業



群桐エコロ(株)

